



4月14日(金)奨学金・学費の説明会

先週末、進学希望者を対象とする奨学金の説明会があった。進学する生徒の皆さんは、大学に入学するとどれくらいの資金が必要か知っているだろうか。入学するための資金は学費の他に、教科書代や下宿代など多岐にわたる。過去に入学したのはよいが、学費が支払えず途中で退学せざるを得なくなってしまったという生徒もいる。進学を希望する生徒は保護者の方々としっかりと話をしてほしい。近年、多額の学費等がかかるということで奨学金の受給を希望する生徒が多い。

今は昔と違い、奨学金の受給を受けている生徒の割合は進学者の40%を超えるといわれている。奨学金の中でも将来返済が必要なもの、必要でないものなど様々な種類があり、知識として知っておいて損はない。

『学級通信 GLORIA No.3』では学費について少し紹介したいと思う。

■受験入学時の費用について

入学までにかかった費用（全国平均）

	国公立		私立	
	自宅	下宿	自宅	下宿
出願するためにかかった費用	131,100円	115,600円	178,700円	162,300円
受験のための費用	19,100円	79,300円	14,700円	76,800円
入学した大学への学校納付金	623,300円	624,900円	920,500円	940,900円
合格発表や入学手続きのための費用	3,700円	35,600円	3,600円	33,800円
入学式出席のための費用	4,700円	39,000円	4,300円	40,000円
教科書・教材購入費用	163,300円	211,300円	130,500円	180,500円
住まい探しの費用	—	188,000円	—	216,500円
生活用品購入費用	88,300円	326,700円	85,300円	306,300円
その他の費用	105,300円	286,400円	83,600円	251,600円
合 計	1,256,300円	2,008,000円	1,492,100円	2,222,700円
後期納付金予定額	270,300円	269,600円	546,900円	538,700円

※『受験のための費用（受験校までの交通費や宿泊費）』について、最近では金沢で受験できる学校が増えているので、あまりかからない場合もある。

※教科書・教材購入費用について、かなりの費用がかかるということを頭にいれておきたい。特に専門学校に行くような生徒は、多額の費用がかかる。（美容関係の場合ははさみ代など、調理系では包丁代など、数十万円かかる場合あり）

※一般に大学でかかる費用となると『入学金』と『授業料』、下宿生は『下宿代』、『仕送り』ぐらいしかイメージがないが、他にも様々な費用がかかる

注)『入学した大学への学校納付金』であるが、私立の場合は90万円ほどかかる。内訳としては入学金が30万円(専門学校の場合20~30万)、前期の授業料が約40万(経済学部35万円程度、外国語学部や幼児教育、芸術といった少人数でおこなう学部は割高で40万円以上かかるところもある)、学校への設備費15~20万円である。これは入学後にかかるものではなく、合格したらすぐに必要となるものである。本校の場合、10月(推薦入試)に合格が決まることもあるが、その場合10月には90万円程度のお金が必要となる。

■進学後の費用について

進学後、1年間あたりの大学費用と家庭の支出

	自宅		学寮		下宿	
	国立	私立	国立	私立	国立	私立
授業料他	71万円	137万円	56万円	120万円	62万円	137万円
生活費他	39万円	40万円	76万円	84万円	109万円	102万円
合計	110万円	177万円	132万円	204万円	171万円	239万円
うち家庭から	61万円	108万円	63万円	140万円	115万円	166万円

では、いったい進学後にいくらぐらいの費用がかかるのだろうか。

授業料 + **生活費** = ?

もっとも安い国公立大学の自宅生の場合(金沢大学など)、1年間で61万円、4年間にすると244万円ということになる。本校で最も多い私立の自宅生の場合(金沢星稜大学など)は、1年間で108万円、4年間にすると432万円程度かかることになる。

『お金の準備』と『心の準備』も・・・

■進学を目指す生徒へ

進学を目指す生徒は、将来の夢に向かって一生懸命努力することは当然のことである。それはなぜか、君達のために多額の費用を捻出される保護者の方々がいるからである。

生徒面談で希望大学について質問すると『大学は〇〇大学でも△△大学でもどちらでもいい』というような曖昧な返事が返ってくることもある。大学四年間で1,000万円近くの費用がかかることを思うと安易に進学先を決めてはいけない。1,000万円の買い物(大学四年間の費用)をあと数ヶ月(夏休み前までには進路先を決定)で決めねばならないのだから、真剣に資料を取り寄せるとかインターネットで調べるなどしてほしいと思う。学校によっては早期に進学先を決めることで入学金や授業料が減免となるところがある。また、成績次第で入学金等が減額されるところもあり、そのあたりをよく調べてほしい。

進学先を調査するにあたり、できることならば1校だけではなく、複数校調べて比較検討することが大切である。そして、検討する際には保護者の方々も交えて考えてほしい。

